

パブリックコメントで提出されたご意見（要旨）及び市の考え方について

募集案件の概要

募集案件	第五次大阪狭山市総合計画（素案）及び第2期大阪狭山市総合戦略（素案）
募集期間	令和3年1月12日（火）から令和3年2月1日（月）まで
意見者数	5名（15件）

第五次大阪狭山市総合計画（素案）の内容修正（評価を含む）に関連しないご意見に対する市の考え方

第五次大阪狭山市総合計画（素案）について意見を募集しましたが、計画（素案）の内容修正（評価を含む）に関連しないご意見やご質問については、回答しておりません。しかしながら、今回ご意見としていただきました事例や取組みのご提案等は、今後のまちづくりの参考とさせていただきますと考えています。

いただきましたご意見（要旨）	市の考え方
<p>【意見】<u>市の実情を分析・課題に沿った施策をわかりやすくまとめていることを評価</u></p> <p>【概要】</p> <p>市の実情を分析・課題に沿った施策をわかりやすくまとめた計画書であると評価する。特に、各中学校区に現状と方向性を一目で示唆している点が理解しやすく評価する。</p>	<p>「各中学校区のまちづくりの方向性」については、「まちづくり市民会議」での議論を踏まえつつ、地域主体によるまちづくりの方向性として、活かしていきたいところ、改善していきたいところと、第五次総合計画の関連施策などを取りまとめたものです。今後、地域ビジョンの策定をめざしてまいります。</p>
<p>【意見】<u>「病後児保育」とともに、「病児保育」の追記を</u></p> <p>【概要】</p> <p>近隣の市ですでに導入されている、病児保育サービスの提供は、女性が活躍し輝く社会をめざすのであれば、特に急がれる。ひとり親家庭や近くに頼れる親族のいない家庭では、病気看護で仕事を休むと、それがすぐに失職にもつながりかねない。このような不当な老条件の下で働いているケースがあとを絶たないということを聞く。「病後児保育」とともに、「病児保育」も計画にいれるべきである。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり文章を修正します。</p> <p>（修正後：行政の取組内容（2））</p> <p>一時保育や延長保育、病児・病後児保育など、きめ細やかな保育サービスを提供し、子どもの健やかな育ちと、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。</p>
<p>【意見】<u>「学校規模の適正化」や「少人数学級化」の追記を</u></p> <p>【概要】</p> <p>大阪狭山市においても、学校規模の適正化に直ちに取り組み、全国で実施される少人数学級化を具体的に進めていくことを第五次大阪狭山市総合計画に書き加えるべきである。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり文章を修正します。</p> <p>（修正後：行政の取組内容（2））</p> <p>少人数学級制度の導入も踏まえ、学校規模の適正化や防災面に配慮した学校園施設の計画的な整備・改修を行い、良好な教育環境の提供に努めます。また、時代の変化に対応した設備・備品などの充実を図り、快適な学習・生活空間の確保に努めます。</p>
<p>【意見】<u>「第五次総合計画のテーマ」の追記を</u></p> <p>【概要】</p> <p>「計画策定の趣旨」には、第三次総合計画のテーマは「人づくり」、第四次総合計画のテーマは「人を生かしたまちづくりを実践すること」としてあげている。「計画の役割と構成」には、第五次総合計画のテーマとして、「地域力を礎に地域の課題に地域で取り組む自律的なまちづくり」とある。第五次総合計</p>	<p>4ページの「（1）計画の役割と位置づけ」にこれまでの総合計画策定の経緯と市民参画のテーマを示しているとともに、24ページに第五次総合計画の基本理念を示しています。</p>

いただきましたご意見（要旨）	市の考え方
<p>画のテーマも第三次、第四次のテーマと同様に、この文章の中でも紹介されるべきだと考える。10年20年を振り返って、浮き出てきた課題解決に向けてテーマをきちんと示されたい。</p>	
<p>【意見】<u>幼稚園におけるコミュニティ・スクール制度の取組みは</u> 【概要】 「コミュニティ・スクール制度の導入や、地域学校協働本部の体制づくりを進め、地域とともにある学校園づくりを推進します。」とあるが、指標では、R7年、10校となっている。幼稚園3園の取組みをどのように考えているか。</p>	<p>本市におけるコミュニティ・スクール制度の導入計画としては、「令和6年度には、市立小・中学校のすべてに導入することをめざす」としています。幼稚園については今後の再編も視野にいれて検討しているところであり、コミュニティ・スクールの導入は計画しておりません。</p>
<p>【意見】<u>進捗状況を見る主な指標「地域学校協働活動参加者数」の目標値の再検討を</u> 【概要】 進捗状況を見る主な指標に「地域学校協働活動参加者数」をあげているが、現状517人から540人としている。これでは、コミュニティ・スクールを運営できるだけの参加者数となっていないのではないかと。地域学校協働活動参加者数の目標値について再検討いただき、見合った数値を示していただきたい。 また、第2期総合戦略（素案）についても、基準値517人、目標値が530人と示されている。第五次総合計画（素案）とあわせ、地域学校協働活動参加者数に置き換えて示していただきたい。</p>	<p>「学校園の授業等への外部人材参加者数」は、小・中学校の授業等に有償ボランティアとして支援していただく外部人材の数を記載しています。有償ボランティアの活用回数の総枠は予算で決められているため、令和7年度まで令和元年度と同額の予算で、より多くの地域人材に支援いただくことを想定して、目標値を設定しております。</p>
<p>【意見】<u>第五次総合計画の策定を、1年から2年程度延期の検討を</u> 【概要】 新型コロナウイルス感染症が拡大し、第3波を抑えるために、関東圏（1都3県）や関西圏（2府1県）に緊急事態宣言の発出があった。このような中、第五次総合計画の取りまとめ・策定は、やはり1年から2年程度、延期することが賢明であると提言したい。理由は、次のとおりである。 第四次の総括が不十分であること。各文章において、前後での整合性がとれていない箇所が散見されること。 策定の過程で開催された「学識者懇談会」での意見について、素案の記述にあまり反映されていないこと。 このようなコロナ禍の大変な時期に形・計画だけをつくるのではなく、現実をしっかり見つめ、そして10年後を見定めるビジョンが重要である。市役所一丸となって、将来の大阪狭山市がどうあるべきかを、再度、1、2年かけて検討し、確定すること。</p>	<p>総合計画に空白期間が生じてしまうこと、第四次総合計画期間を1年延長した場合であっても目標設定の見直しや、進行管理といった新たな作業が必要となってきます。こうした中、総合計画審議会を開催し、本年1月6日に審議会を代表し、会長から答申をいただきました。また、同月12日から2月1日までパブリックコメントを実施しました。こうした経過により、3月議会に提案していきたいと考えています。</p>

なお、今後の大阪狭山市のまちづくりに対するご意見・ご提案がございましたので、これらのご意見・ご提案につきましては、今後のまちづくりを進める上で、参考にさせていただきます。

今後のまちづくりに対するご意見（要旨）
<p>【意見】<u>市のホームページに、民間の運営する放課後児童会の開設場所の掲載を</u></p> <p>【概要】市のホームページに、民間の運営する放課後児童会の開設場所を載せることを求める。</p>
<p>【意見】<u>東小学校過密問題の解消を</u></p> <p>【概要】</p> <p>最大の在籍児童数 866 名を数える東小学校。最小人数の小学校の 3 倍の児童数で運動会も大変な過密状態での開催、交代で観戦する状況である。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症も影響し、日々の児童たちの教育活動にも当然制約が生じる。早急に過密解消を計るべきと考える。</p> <p>金剛駅付近の半田 5 丁目の住居の方の児童が第七小学校へ編入すると、80 名前後の緩和ができると思われる。中学校も狭山中学校から第三中学校へ。かつては第三中学校の校区であり、早急に検討してほしい。東小学校に通っている児童・保護者は、他の校区と比較できず、これが普通だと思って、特段大きな問題だとは思っていない。他校との教育の公平感から考える改善が必要であると思う。</p>
<p>【意見】<u>教育環境の整備を</u></p> <p>【概要】</p> <p>園や学校によって、大変きれいな所もあるが、一方で正門が、ひび割れしたり、壊れたり、汚れたり、園や学校がある。園や学校の顔である校章が見えない所まである。2、3年に1回、少しでも学びの環境整備を考えてほしい。</p>
<p>【意見】<u>通学路のブロック塀の安全チェックについて</u></p> <p>【概要】</p> <p>2年前の大阪北部地震で、高槻市の小学児童がブロック塀の倒壊で亡くなられた事故があった。大阪狭山市において、通学路におけるブロック塀の安全チェックはできたのか。この問題(ブロック塀の危険箇所) 解決には、市、保護者会、自治会、市民等がチェックし安全確保が望まれる。</p>
<p>【意見】<u>医療体制の継続と南河内医療圏内で 3 次救急や災害拠点病院の確保を</u></p> <p>【概要】</p> <p>令和 6 年（2026 年）に近畿大学病院の移転が決まっている。医療体制の継続と南河内医療圏内で 3 次救急や災害拠点病院の確保は必ず実現すること。</p>
<p>【意見】<u>「テレワーク最適都市 大阪狭山市」でまちおこしを</u></p> <p>【概要】</p> <p>コロナ収束するであろう 21 年秋頃から「テレワーク最適都市 大阪狭山市」でまちおこしを提案する。</p> <p>豊かな自然で綺麗な風景の中でのテレワーク。大阪市内より家賃が安く住居空間が広い（テレワーク用部屋確保）。都心部にはない発想が生まれる街を、前面的に打ち出す。</p> <p>子育て世代の移住による活力と税収 UP を狙う。同時に空き家問題や狭山ニュータウンの活性化も狙う。キャンペーン（UR1 週間無償体験滞在・引越祝い金など）を企画。オリエンテーションで総合計画・総合戦略を説明。</p>
<p>【意見】<u>さやか公園に AED の設置を</u></p> <p>【概要】</p> <p>ジョギングランナーの多い狭山池遊歩道やさやか公園に AED の設置が必要かと考える。</p>
<p>【意見】<u>計画のさらなる推進を期待する</u></p> <p>【概要】</p> <p>施策 5（57 ページ）、施策 10（71 ページ）、施策 16（92 ページ）の記述には大いに賛成である。計画のさらなる推進を期待する。</p>